

道 東 州 独 立 論

* 岩 瀬 政 吉 Masakichi IWASE
 * 三 森 敏 司 Toshiji MINORI

はじめに

道州制という言葉があるが、北海道庁等が考える中には道央のことだけを考えた道東はいつも置き去りである。例えば、一時いろんな場所の郊外に工業団地なるものを作り、企業誘致に励んだ時代がある。実際は企業を呼ぶ一番の競争相手は中央である。良い相手は皆中央とか、苦小牧にとられてしまう。

そこで考えたのが道東州の独立である。道東で一番必要なものは何であろうか。一番先に思い浮かぶのは人の命に最もかわる医大(医学部)である。

国立の医大が道東に少なくとも4つか5つは欲しい。それには道東州の独立が必要である。道東には他には必要なものは既にある。例えば空港は釧路、帯広、中標津、女満別、紋別の5つがあり、それぞれ羽田と結んでいる。各府県が空港を欲しがり、どんな小さな県でも空港を作り、飛んで行く場所がなく、宝の持ち腐れにしているのは対象的である。

そんな例を考えて、少し対象としては適当といえないかも知れないが、四国4県との比較を、本文中では取り上げて見ようと思う。

一

例として表1に四国地区、表2に道東地区の面積と人口をあげたが以外と面白い例となる。

道東州の州都は言い出し者の権利として釧路とさせてもらおう。しかも道東州はそれぞれ表2に示す四つの圏に分け、それらは全部、選挙により圏知事を決め、圏会議員も送出し、それぞれの法律を決めて運営する。それで初めて、一番の目的が達成される。少なくとも四つの国立医大を作ることが出来るわけである。

二

そろそろ本文も締めくくりに入りたいと思う。先日の道新の記事によると、釧路

表1. 四国地区

県名	面積 (km ²)	人口 (人)
徳島	4,145	809,974
香川	1,876	1,012,261
愛媛	5,677	1,467,824
高知	7,105	796,211
計	18,803	4,086,270

表2. 道東地区

支庁名	面積 (km ²)	人口 (人)
釧路	5,997	252,571
網走	10,690	309,487
十勝	10,212	353,291
根室	3,540	81,852
計	30,439	997,301

公立大学の学長の道東釧根の経済解析のお話が出ていた。それによると釧根地域は道内での収支が1千億円のマイナスである。しかし道内や海外との関係は250億円の黒字だという。それ以外の道内の中央を含む4地域はいずれも対道内、道外とも赤字だという。

道東の資源といえは、面白い例がある。例えば、今増えすぎて手を焼いている鹿の話である。道内にはざっと64万頭の鹿がいるという。道東には恐らくその60%はいると思う。NZ(ニュージーランド)では、人間の千数倍もの羊がいるという。しかしその産品はあまり多すぎて儲からない。そこで鹿に目をつけた。山一つを鹿の牧場に見立て放牧するという。NZの牧羊犬は「目力(メジカラ)」だけで羊を追立てる。そんな地方だから鹿を集める時も牧羊犬を使っているのではない。残念ながら道東では、そんな方法は使えないがしかし他の色々な方法を考えている様である。私は今まで色々な機会に恵まれ、鹿肉を食べたが仲々おいしい。何年か前、洞爺湖でサミットがあったが、その時のシェフはわざわざ

* 釧路高専名誉教授 * 釧路高専建築学科

フランスからフォアグラをとりよせて出したという。道内には上等な鹿肉が沢山あるのに、呆れてものが言えない。

しかし、当地域には素晴らしい発明者がある。例えば壱素氷の発明者である。今のところ、釧路と厚岸に工場があり、出漁の時、数十トンの氷を積んで行くと、この氷を使うと(魚の)鮮度は4〜5日落ちないという。また別の研究者はスクリーナー式の泥状物固形装置をつくり、特別の凝集剤を用い、前処理をして、スクリーナーにかけ、処理するというえらいものである。

また独自の氷技術を開発した昭和冷凍プラントがある。

さて釧路近辺のことだけを述べたが、中札内のあたりにも、偉い人がいる。話は少し古くなるが、そこには生キヤラメルの製法を発明した人がいる。かの有名な(株)花畑牧場の田中義剛は、一時この生キヤラメルで儲けた。もう一つの例も少し古いが、阿寒焼鳥井を発明した人がいる。これを食べた人は別に違和感をもたず、美味だといって食べた。実は鹿肉の井物だったが当時の人に鹿肉を食べさせる一方法を考えた人である。

おわりに

さて、本文の最後に論文の一番の目的である、道東州の中に少なくとも3〜4ヶの国立医大を設置する方法である。

道東州と四国では、始めからの大きなハンデイが四ツある。それは四国には医大(付属を含めて)が既に四ツ存在することである。

それでは、それに追いつく方法はあるであろうか。

かつて、第2次世界大戦の終り頃若い男子は皆戦場に引っぱられていなくなり、そこで国が考えたしたのは、女子医学高等専門学校の創立である。

それが戦後の今では立派な札幌医大に変身している。尚、釧路にも旭川にも高専があり、専攻科を卒業すると立派な大学生である。これにヒントを得たのか、旭川にはもうちゃっかり医大が設立済みである。

しかし、がっかりする必要はない。道東州独立の狙いはそこにある。つまり道東州では、州都は釧路に定め(云い出したものの権利として)州都は州都として議会を作り州知事を送出する。次は各支庁圏でも議会を作り各圏で知事を選出し

て、権限を持たす。この方法で各圏知事は、国立医大を四つや五つは設置して行けるであろう。

付記

- (一) 表1・表2は独自にアルバイトを使って調査した結果を示す。
- (二) 後述の英文要旨の作成には、永田 誠氏の協力をいただいたので謝意を表します。

Essay of Seeking Independent Eastern Hokkaido State

Masakichi IWASE Toshiji MIMORI

Abstract We consider that we should seek the independent Eastern Hokkaido State for The purpose of attracting national medical college for respecting human Life. For that purpose, we should have the independent Eastern Hokkaido State. The Eastern Hokkaido State is considered to correspond to prefectures in the Honshu. All prefectures in Japan except a prefecture in the Honshu have the national medical colleges. We desire that the national medical college are to be founded in at least about five or six districts, corresponding old branch areas of the Hokkaido, of the Eastern Hokkaido State. We propose to have the independent Eastern Hokkaido State as a scheme to realize above desire.